

第三者評価結果

事業所名：太陽の子不動下保育園

共通評価基準 (45項目)

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a

<コメント>

- ・理念・基本方針はホームページや重要事項説明書に明示されており、園内にも掲示して誰でも常に目が届くようにしている。また、スタッフハンドブックにも明文化し職員の行動規範となっており、職員は唱和してから業務を行うように取り組んでいる。
- ・基本方針は入社時や園内会議にて職員に周知・共有され、またこの方針に基づき保護者会などが運営されている。
- ・保育理念の実現に向け、園長は日々の保育を実践しつつ、職員と面談を行って一層の理解・認識を深めるように取り組んでいる。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a

<コメント>

- ・毎月、園長は本社全体会に参加し必要な情報を収集して、後日園の職員に共有している。また、大学などの教育機関や行政等の関係機関へ問合せ、必要な情報を収集している。
- ・本社と共同で園カルテを作成し、地域の人口動態、他園の状況などから環境変化を分析し、課題を抽出している。
- ・毎月本社への月次報告にて園児の入退園数などを報告し、本社企画部門で保育コスト、利用者の推移、利用率の分析を行っている。

【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
--	---

<コメント>

- ・本社内経営企画部が中心となり収集した情報を分析・検討して、取り組むべき課題や問題を明確にしている。
- ・運営推進部にて事業の進捗状況を確認して、園長会を通じて各園長に情報共有している園の具体的かつ重要な課題や問題は、園長が連絡ノートや会議で職員に報告し園全体の課題にして取り組んでいる。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・中・長期的なビジョンは本部で策定し本社全体会で園長に説明しており、園長はそれを必要に応じて職員に伝えている。 ・本部策定の中・長期的なビジョンは数値的な目標や具体的な成果等を設定し、評価・見直しすることができる内容となっている。園独自としては明文化していないが、保育現場での実践を通して具現化されており、見直しを行ないながら、実態に即した内容にできるように取り組んでいる。 	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・単年度計画は中・長期計画を踏まえて、全職員で前年度の振り返りを行ない、反省や課題を踏まえた計画設定となっている。立案・策定は主任、リーダーが行っており職員会議で全職員に共有できるようにしている。内容は具体的な成果などについても設定しており、実行可能な計画となっている。 ・単年度計画は保護者ニーズに合った内容となっており、コドモンシステムにて配信し保護者に提示している。 	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は、全職員で前年度の振り返りを行ない、反省や課題を踏まえた計画となっている。 ・都度又は定期的に職員会議を開き、計画の実施状況や振り返りなどが行われており、職員間で話し合うことで情報共有をしている。 	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は閲覧できるようにしており、保護者ほか関係者に周知するよう努めている。 ・年間計画は、運営委員会や保護者会で説明し、保護者の意見も反映できるようになっている。 ・園の年間計画を各クラス運営に連動させ、クラス保護者会でも説明している。口頭での説明だけでなく、園内に掲示によっても保護者への周知に努めている。 	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長は本社方針に基づいて自園の自己評価を実施し、本社との面談等を基に保育の質向上や運営改善のためのPDCAサイクルを上手く機能させている。 ・職員は事業年初に年間目標を定め、その達成に向けて保育業務を遂行して自己評価を行ない、園長や主任と面談をしてアドバイスや指導を受け保育の質の向上に取り組んでいる。 ・第三者評価を定期的に受審し、振り返りの機会としており、保護者アンケートの結果も受け止め質も向上に向けて取り組んでいる。 	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・自園の取り組むべき課題・問題点は職員間で共有し認識している。 ・園長にて纏め作成された改善策等は、本社運営推進部と共有し進捗など確認している。 ・内部監査や行政監査などの指摘事項など、課題・問題点を明確にして記録している。 ・自園の取り組みべき課題・問題点は、職員会議にて振り返りや見直しを行ない、改善策や改善計画を検討・協議している。 	

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長は当園赴任時に職員に対し、自身の基本方針を示し周知に努めている。また、自身の自己評価シートに自らの役割と責任及び取り組むべき課題を記載し、職員に理解・認識を促している。 ・BCPを作成し、園長は有事の自己の役割と責任を明確に定めている。 ・園長不在時の権限移譲に関しては、リーダーが代行するようにし職員は共通認識している。 	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・法人はプライバシーポリシーを策定し、スタッフハンドブックで遵守すべき法令等を記述し、職員への周知を促している。また、本社にて「コンプライアンス確認テスト」を実施し、一層の園長の理解・認識に取り組んでいる。 ・園内及び本社での研修等で理解を深めるように促し、すべての職員が一定の認識を保持するように取り組んでいる。 ・保護者には、入園の際に個人情報に関する同意書の提出を促している。 	
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は年度初めに自身の目標を設定し、その個々の目標に沿って業務に取り組み定期的に振り返りを行っている。 ・園長は園内研修を実施して職員に対し、課題の把握と具体的な取り組みを実施し、継続的に働きかけをしている。また、自園の自己評価を行ない、定期的に本社との面談等を基にPDCAサイクルを実施して保育の質の向上に意欲をもち取り組んでいる。 	
【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長は本社主催の労務研修及びテストを義務付けられ、労務管理の基礎知識を持ち、それを基に経営の改善や業務の実行性を高める取り組みに指導力を発揮して業務を行っている。また、園長対象の全体会議で自園の経営状況及び財務状況を共有し把握している。 ・毎月、月次報告書を本社に提出し、本社および園担当者と運営状況について情報を共有している。 ・働き方改革を年間テーマとして学び、園内において働きやすい環境整備に取り組んでいる。 	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本社にて、福祉人材や人員体制、職員育成などに関する基本的な考え方や方針が確立されている。 ・採用は本社人材開発が行い、配置については園長と本社運営推進部とエリア担当が協議相談して対応している。 	
【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本社にて人事基準は明確に定められており、スタッフハンドブックに「期待する職員像等」を明確にしている。 ・キャリアパスを提示し、職員は自己評価シートに年間の目標や研修計画を定めている。 ・職員は年に4回以上は園長や主任と面談し、目標や保育の振り返りや見直しを行っている。 ・評価・分析に基づき職員の処遇を検討し、必要に応じて人事管理・労務管理上の改善策を講じている。 	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則に基づき、人事と運営推進部が園長と協力し働きやすい環境づくりに取り組んでいる。 ・労務管理に関しては園長が担当して聞き取りなどを行ない、職員の就業状況や意向を把握している。 ・職員の希望を聞き入れ、シフト作成しており有給休暇は必ず年間5日以上取得できるように配慮して、ワークライフバランスを考慮働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 ・園長は定例面談以外に「5分面談」を行ない、職員個々の課題を把握し意欲・モチベーション向上に努めている。 	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定シートにて職員一人ひとりの目標項目、目標水準、目標期間を設定する目標管理のための仕組みがある。 ・目標設定シートに基づき、園長は職員と年4回面談を実施し、評価・分析に基づき目標を達成できるよう、具体的な取り組みを提案・実施し適切な指導に取り組んでいる。 ・新人職員は2年目職員と毎月末にエルダー面談を行ない、その内容を園長とクラスリーダーが把握して職員育成に活かすシステムがある。 	
【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定シートに専門技術や基本姿勢を明示し、職員一人ひとりに合った、個別育成計画・研修計画を作成している。 ・個別育成・研修計画に沿って人材育成が行われ、職員は目標に沿って業務を遂行し、また自己評価できるようにしている。 ・定期的に園長が面談し、計画の進捗状況や達成度合いを確認している。 ・職員との面談で計画の見直し、評価を行ないアドバイスや指導などに努めている。 	
【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長は法人の乳幼児研究所が策定した研修計画に基づき、園独自の年間研修計画を立て職員一人ひとりに合った個別育成計画・研修計画を作成し参加できるようにしている。 ・職員にはキャリアアップ制度に基づき教育・研修の機会があり、階層別研修、職種別研修、テーマ別研修など各職員が必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を設けている。 ・研修に参加後、研修報告書を作成し全職員に回覧して知識を共有し実際の保育現場で応用している。 	

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園では、本社の教育実習生受入マニュアルに基づき、基本方針を明確にしている。 ・マニュアルやプログラムなどを整備して実習生などの受入体制は整備している。 ・本社で主任・ミドルリーダー研修において、受け入れ指導者研修、考え方研修を実施している。 ・実習生受入に関してリーダーを担当者と決め、養成校などとの窓口としている。 	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	
<コメント>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで法人及び園の保育理念や基本方針、保育の内容や活動などを情報発信している。 ・ホームページには重要事項説明書や財務書類など関係書類、地域活動の実施状況や第三者評価受審結果などを公開して運営の透明性を確保している。 ・苦情や保護者アンケート結果はコドモン配信と園内掲示で保護者に情報提供し、直ぐに対処・対応するようにしている。 		
【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	
<コメント>		
<ul style="list-style-type: none"> ・園の事務、経理、取引などに関するルール、職務分掌と権限・責任を明確にし、職員に周知して適正な経営・運営に努めている。 ・本社のグループ会社による内部監査と行政の定期的な行政監査を受審し、受診結果や指摘事項に基づいて自園に関連する事項については経営・運営改善に努めている。 ・スタッフハンドブックにも各業務に関して適切な記載があり、園長はじめ職員はその記載に則り業務を遂行している。 		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域とつながる＝市民になる」を理念に掲げ、地域活動に取り組んでいる。 ・園長は目標設定に地域交流を挙げ、園舎オーナーや地域の企業、第三者委員などと積極的に交流を図るよう努めている。 ・地域の人々と子どもとの交流の機会を積極的に設け、保育所への理解を得るよう取り組んでいる。 	
【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受入や地域の学校教育などへの協力についての基本姿勢を明文化し、マニュアル・体制は整備している。 ・地元小学校の先生方と交流しており、そのニーズに応え「掃除の仕方」や「和式トイレの使い方」を園児に教えるなど協同している。 ・毎年、他園の子ども達と地元小学校を訪問し、駒遊びなど一緒に活動したり、園児から質問し小学生が応えるなどして交流している。 	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園や公共機関、商店など種類別に明確に社会資源を分け保育実践に生かしている。 ・子育て支援センターや区役所の担当、児童相談所など関係機関と定期的に、また必要に応じて連絡を取り情報共有している。 ・子供に不明なあざや怪我がある時は、児童相談所に連絡を入れ連携して対応している。 ・区の研修などに参加し各種関連情報を入手し、理解を深めるとともに関係機関と連携が図れるようにしている。 	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・他園の園長と情報交換を行い、地域の福祉の状況やニーズなどを把握するように努めている。 ・園長は各種の園長会に参加し、地域の福祉ニーズや状況を把握するよう取り組んでいる。 ・本社運営推進部でも地域の情勢や行政の動向などに関する情報を把握し、園長と連携して園運営に活かしている。 	
【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児家庭に対する入園活動のサポートや未就園児教室などの活動をグループ内で共有できるようにし、地域還元積極的に取り組んでいる。 ・園舎オーナーと連携してハロウィンやクリスマスなどの行事では近隣の人々と交流し、地域に根差した園となるよう取り組んでいる。 	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
<p>【28】 Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、マルチリトメント研修を実施し、子どもを尊重した保育の実施に向けた取り組みを行っている。 ・子どもの尊重や基本的人権などについて、本社及び園内で定期的に研修を実施している。 ・日々の保育実践の中では、「誰々が悪い」、「君、ちゃんの区別」、「男女の色使い分け区別」などの固定観念や因習などに囚われた保育を行わないように職員間で共有するよう努めている。 ・保護者にも子どもの人権に関わる資料を配布している。 	
<p>【29】 Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どものプライバシー保護については、マニュアルが作成され、また自己目標シートの中にも記載があり、職員は常に念頭に入れて保育を行っている。 ・園内研修を行ない、子どものプライバシーに配慮した保育・生活環境について話し合いを実施している。 ・プライベートゾーンなどには目隠しする等子どものプライバシー保護に配慮している。 	
<p>(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p> <p>【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や基本方針、保育内容や園の特徴など、園情報はパンフレットやホームページに掲載したり、園内に掲示または設置して誰でも閲覧できるようにしている。 ・園見学は子育て支援と位置づけ、積極的に受入れて1組ずつ丁寧に対応し、事前アンケートで知りたいことを把握して個別対応し、見学と同時に子育て相談をも兼ねたものとしている。 ・見学者対応の研修を実施し、適切な情報提供について適宜見直しを行っている。 	
<p>【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の開始・変更時には園長が保護者に説明して同意を得るようにし、その内容を書面で残している。 ・本所で「保護者支援」について研修を行ない、特に配慮が必要な保護者についての対応の基本姿勢が職員に定着するよう支援している。 	
<p>【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の変更や自園の保育終了に当たっては、園長が窓口担当者となり対応している。 ・転園や小学校就学に向けて、要録を作成したり、必要な書面を提出したりして保育の継続性に配慮した対応を行っている。 	
<p>(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p> <p>【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の保育では、子どもの主体性を重視し極力見守りを行ない、自分で考え行動する力を養えるようにしている。 ・保護者アンケートを実施し保護者が求める保育を把握するように努めている。 ・保護者会、個別面談、保育参加を定期的に行ない、都度アンケートを行ない利用者満足度を把握している。 ・保護者アンケートに基づき、翌年度の運営計画を立案するサイクルをとっている。 ・収集した意見などを職員間で共有し保護者満足向上に向け取り組んでいる。 	

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】 Ⅲ-1-(4)-①
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

a

【判断した理由・特記事項等】

- ・ 苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者はスタッフとなり、苦情解決の体制は構築されている。
- ・ 園内に意見箱を設置し、毎日確認して速やかに対処するように努めている。
- ・ 本社にも苦情相談窓口を設け、園と連携して苦情解決に取り組んでいる。

【35】 Ⅲ-1-(4)-②
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

a

<コメント>

- ・ 園内に意見箱を設置し、また苦情解決の仕組みに関する掲示を行っている。
- ・ 苦情などがあった場合には、速やかに回答し掲示及び公表して保護者に周知するようにしている。
- ・ 本社にも苦情相談窓口があることを重要事項説明書に記載し、保護者には入園説明会で周知している。
- ・ 相談しやすいスペースの確保など、環境設定に配慮している。

【36】 Ⅲ-1-(4)-③
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a

<コメント>

- ・ 意見箱や連絡帳のほか、登園・降園時に口頭でもコミュニケーションをとり、保護者からの意見や相談を迅速に聞き取るようにしている。
- ・ 相談や意見を受けた際は記録をとり、必要に応じて全職員と共有し組織的な解決に努めている。
- ・ 本社でも相談窓口を設置し、園と共有しており、場合によっては行政とも連携を行っている。

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】 Ⅲ-1-(5)-①
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

a

<コメント>

- ・ 本社でリスクに対するマニュアルや事業継続計画を作成するとともに、関連する研修を実施している。
- ・ 園長をリスクマネジメントに関する責任者とし、対応・対策の体制構築が行われている。
- ・ 園では自園の状況にあったリスク対応・対策の手順などを明確にし、職員間で共有している。
- ・ ヒヤリハット報告や各園で収集した事故事例などを職員間で共有し、事故防止に努めている。

【38】 Ⅲ-1-(5)-②
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

- ・ 感染症対策に関しては、園長を責任者とした体制を構築している。
- ・ 園の状況にあった予防と対策のマニュアルを作成し職員間で周知徹底している。
- ・ 園内研修を行ない職員間で感染症に対する知識や技術を修得し、対応できるよう共通認識を持つように努めている。
- ・ 本社にて保護者への感染症情報提供の共通シートを作成し、適切適時に情報提供できるようにしている。
- ・ 看護師研修、保健衛生担当者研修で、感染症の知識と対応ができるようにしている。

【39】 Ⅲ-1-(5)-③
災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

a

<コメント>

- ・ 園主体で事業継続計画を策定しており、都度見直しして職員に周知徹底するように努めている。
- ・ 防災計画を整備し地元の消防署、警察、自治会などと連携した避難訓練等を行ない、子どもの安全確保のための体制を講じているが、実際の災害発生時に適切な対応ができるか不安が残る。
- ・ コドモンを活用し、保護者、スタッフの安否確認の仕組みを作っている。
- ・ 備蓄品リストの管理責任者は栄養士と定め、年2回備蓄の確認と補充を行っている。

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本社にて作成のスタッフハンドブックに標準的な実施方法を文書化し、権利擁護の姿勢を明示している。 ・スタッフハンドブックは入社時に配布研修を行い、全職員に周知できるようにしている。 ・主任・ミドルリーダー研修で、標準的な保育の提供の指導方法の研修を行い、園内で定着させその確認ができる体制を作っている。一方で園の独自性も大切にし、園同士で実践を見合い学びあえる体制を作っている。 	
【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年園よりマニュアルに関するヒアリングを行い必要に応じて見直しを行っており、改訂があれば各園に送付し周知に取り組んでいる。また、監査や第三者評価等での意見・指導を受けた事項についても検討し見直しを図っている。 ・園内においては年度末に会議において話し合いの機会を設けている。 	
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートや、園の自己評価等を用いて定期的に振り返りを行えるようにサポートしている。 ・指導計画策定の責任者は園長、指導者はリーダーと位置づけ、指導計画策定の指導と自己評価が適切にできる仕組みを作っている。 ・園内では保育計画について学びあえる会議を行っている。指導計画の策定については新卒、2年目、ミドルリーダーが学ぶ研修を準備し共通認識がもてる仕組みを作っている。 ・支援困難ケースは、基礎研修の実施を行い、マネジメント層が指導できる仕組みを作っている。 	
【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園からのヒアリングや、行政監査等での助言・指摘を踏まえ、定期的に見直しを行っている。 ・指導計画については、主任研修で年に1回見直しを行い、変更については毎年2月全体会で全体周知する仕組みを定めている。 ・行政監査での助言や第三者評価機関からの助言等外部の意見も含めて検討を行っている。 ・毎年指導計画作成の研修は行い、改善に努めている。 	
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・コードシステムの導入や、本社で帳票の作成を行っている。本社が統一書式を提供し、継続的に成長が記録できる仕組みを作っている。 ・主任・ミドルリーダーが中心になり指導計画に基づく保育が実施されているか、適切に自己評価ができていないか指導している。また、指導研修の受講によって指導の基本知識を持ち、各園の工夫をもちよれる体制づくりに取り組んでいる。 ・園内においては毎月のスタッフ会議で子どもの情報を共有する仕組みを作っている。 	
【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・会社としてのプライバシーポリシーの策定をし、スタッフハンドブックで周知している。 ・園内及び本社での研修等で理解を深めるよう促し、研修に参加できない場合は、スタッフ会議議事録や研修参加者の報告書を共有し、全ての職員が一定の認識を保てるよう取り組んでいる。 ・保護者には入園の際、個人情報に関する同意書を提出していただき、各帳票においては園長が管理責任者のもと、施錠できる棚で管理している。 	